

# 国内情報セキュリティ市場 2020年6月公開予定 2019年度調査報告

**新分類版**

2018年度 売上高 推定実績値  
2019年度 売上高 推定見込値  
2020年度 売上高 予測値

2020年 4月23日

**JNSA調査研究部会  
セキュリティ市場調査WG**

## JNSA独自の調査活動

変遷:

2004年から継続中

2009年まではMETIの委託事業

2010年METI要請にグローバル調査が追加され委託事業への参加を断念

2010年度からはJNSA独自調査を継続

今回調査で15年目・・・ 来年から調査・WGの進め方を変更するため

従来方式での調査・分析を進めながら新方式検討

2019年度は、新分類による調査・分析を前提にWG活動スタート

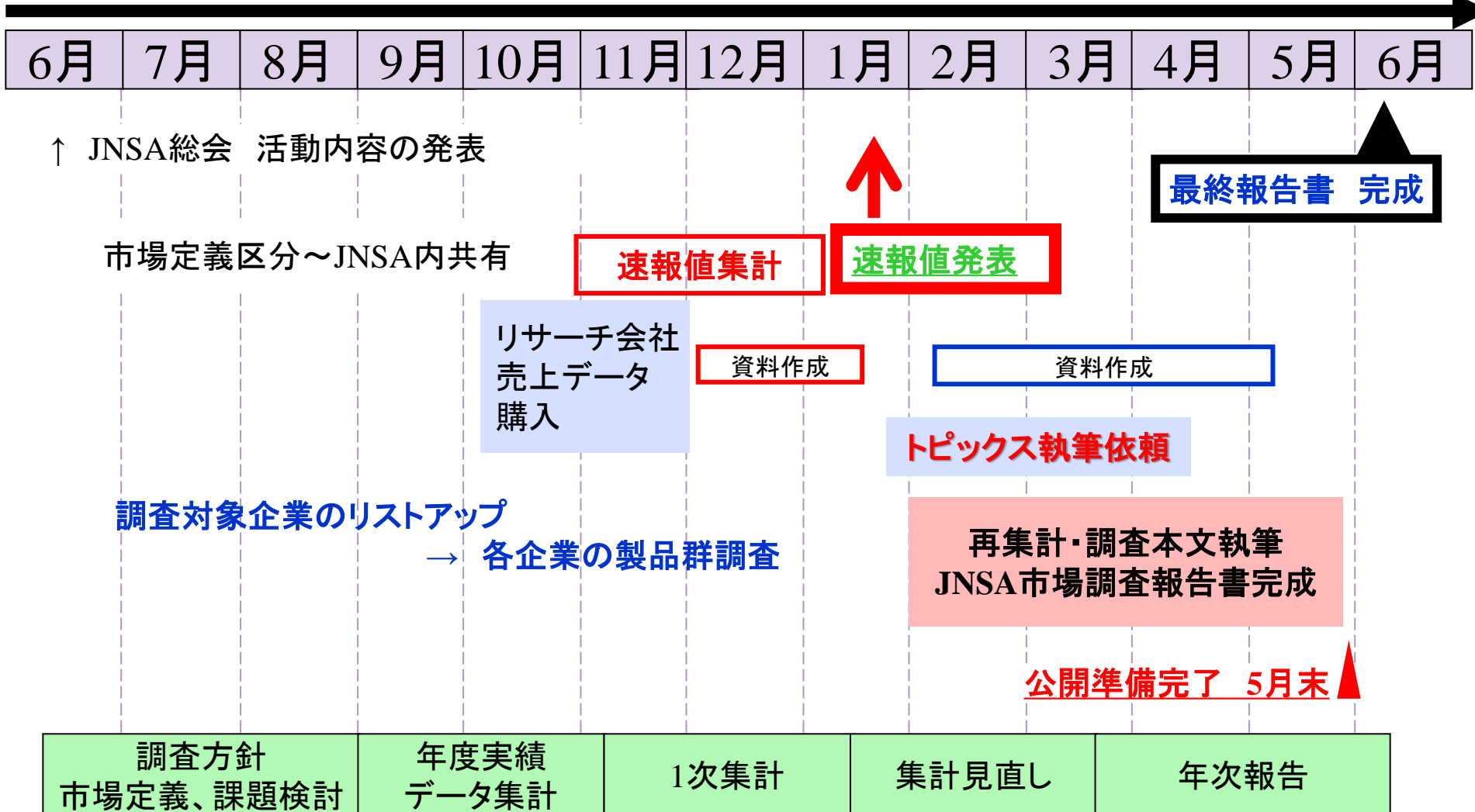
2020年4月新型コロナウイルス感染拡大に伴いtele-WGで作成

## JNSA会員の、会員による、会員のための セキュリティ市場調査

- セキュリティ市場とセキュリティ産業の姿を**継続的**に捉える
- 調査結果をJNSA会員企業のそれぞれの事業に**役立ててもら**う
- WG**メンバー**が活動を通じ、**交流**し、調査の手法を学び、**知見**を広げる

## ■年間活動スケジュール（年間の流れ）■

毎月1回WG開催



# (新旧ツール区分比較)市場区分



## 市場区分

旧 セキュリティ ツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
新 セキュリティ ツール	エンドポイント保護管理製品	ウイルス対策製品、EDR製品、ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品
	ネットワーク防御・検知/境界線防御製品	FW、VPN接続、IDS/IPS、WAF、UTM セキュリティ情報管理、物理セキュリティ
	コンテンツセキュリティ対策製品	情報漏えい対策:DLP/DRM、暗号化製品、メール・セキュリティ対策 URLフィルタリング、脆弱性検査製品
	アイデンティティ・アクセス管理製品	個人認証用・生体認証デバイス及びその認証システム アイデンティティ管理、ログオン管理/アクセス許可、PKI

## 業態区分

- A: 海外メーカーまたはその日本法人
- B: 国内のセキュリティツールメーカー
- C: 販売店・商社等主として流通機能の企業
- D: SI・NI※機能を有する二次・三次販売店 (※NI: Network Integration, ネットワーク構築)
- E: SIが主たる付加価値の大手システムインテグレータ
- F: コンサルティング企業
- G: セキュリティサービス提供事業者
- H: その他 (サイバー保険・その他異業種)

# (新旧サービス区分比較)市場区分

## 市場区分

旧 セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルティング	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	脆弱性検査、マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険
新 セキュリティサービス	コンサルティング/診断サービス	コンサルティング、監査・評価、診断、規格認証
	マネージド・運用サービス	SOC、インシデント対応・フォレンジック、インテリジェンス情報提供
	周辺サービス	電子証明書発行・PK型認証、リテラシー教育、資格取得支援、保険

## 業態区分

- A: 海外メーカーまたはその日本法人
- B: 国内のセキュリティツールメーカー
- C: 販売店・商社等主として流通機能の企業
- D: SI・NI\*機能を有する二次・三次販売店 ( \*NI: Network Integration, ネットワーク構築 )
- E: SIが主たる付加価値の大手システムインテグレータ
- F: コンサルティング企業
- G: セキュリティサービス提供事業者
- H: その他 (サイバー保険・その他異業種)

# 調査・分析の母数



	調査対象	分析対象
2015年度(2016年6月発表)	507社	497社
2016年度(2017年6月発表)	589社	520社
2017年度(2018年6月発表)	739社	591社
2018年度(2019年6月発表)	873社	691社
2019年度(2020年6月発表予定)	945社	674社

対象694社の売上高合計

72兆1714億円

従来方式では694社:72兆3577億円。20社の差はセキュアシステム構築サービスのみの個社が減った。

本WGで推計した各社のセキュリティ事業合計

上記のうちセキュリティ事業額推定 **1兆3825億円(1.9%)**

従来方式では、1兆5553億円。システム構築サービスを調査から外したため

日本市場における各社の付加価値を推計

今回調査(実績推定値) **1兆0927億円(1.5%)**

従来方式では、1兆2210億円。システム構築サービスを調査から外したため

2019年度市場調査 新分類	2017年度 売上実績推定値			2018年度 売上実績推定値			2019年度 売上高見込推定値			2020年度 売上高予測値		
	金額	構成比	前年比伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率
セキュリティツール+サービス	971,229	100.0%	18.8%	1,092,663	100.0%	12.5%	1,147,469	100.0%	5.0%	1,135,664	100.0%	-1.0%

# 国内情報セキュリティ市場規模推定値



## ツール (ハード・ソフトなどのプロダクト売上高)

	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
	売上実績推定値			売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	前年比伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率
ウイルス対策製品	118,127	75.5%	5.2%	123,759	72.9%	4.8%	128,709	72.6%	4.0%	115,838	70.1%	-10.0%
EDR製品	6,271	4.0%	-84.8%	6,931	4.1%	10.5%	7,625	4.3%	10.0%	7,625	4.6%	0.0%
ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品	31,965	20.4%	1.9%	39,011	23.0%	22.0%	40,962	23.1%	5.0%	41,781	25.3%	2.0%
エンドポイント保護管理製品	156,363	27.6%	-15.5%	169,701	26.5%	8.5%	177,295	26.3%	4.5%	165,244	24.9%	-6.8%
FWファイアウォール製品	26,819	18.4%	9.2%	29,378	17.5%	9.5%	30,553	17.2%	4.0%	30,553	17.1%	0.0%
VPN接続製品	18,701	12.9%	31.0%	21,534	12.8%	15.1%	22,395	12.6%	4.0%	22,395	12.6%	0.0%
IDS/IPS製品	19,183	13.2%	29.8%	21,516	12.8%	12.2%	22,376	12.6%	4.0%	22,376	12.6%	0.0%
WAFウェブアプリケーションファイアウォール製品	16,143	11.1%	33.5%	25,167	15.0%	55.9%	26,174	14.8%	4.0%	26,174	14.7%	0.0%
UTM製品	28,726	19.7%	36.7%	33,232	19.7%	15.7%	36,555	20.6%	10.0%	36,555	20.5%	0.0%
セキュリティ情報管理システム/製品	17,958	12.3%	128.7%	18,750	11.1%	4.4%	19,688	11.1%	5.0%	20,082	11.3%	2.0%
物理セキュリティシステム/製品	17,958	12.3%	128.7%	18,750	11.1%	4.4%	19,688	11.1%	5.0%	20,082	11.3%	2.0%
ネットワーク防御・検知/境界線防御製品	145,488	25.6%	42.0%	168,328	26.2%	15.7%	177,430	26.4%	5.4%	178,218	26.8%	0.4%
DLP製品・システム(情報漏えい対策製品・システム)DRM	30,005	20.2%	90.2%	32,833	19.2%	9.4%	34,147	19.2%	4.0%	35,854	20.1%	5.0%
暗号化製品	35,719	24.0%	-6.4%	40,358	23.6%	13.0%	42,376	23.8%	5.0%	42,376	23.8%	0.0%
メール・セキュリティ対策製品	37,879	25.5%	4.8%	50,484	29.5%	33.3%	52,504	29.4%	4.0%	49,879	28.0%	-5.0%
URLフィルタリングソフトウェア/アプライアンス	28,690	19.3%	48.5%	27,379	16.0%	-4.6%	28,474	16.0%	4.0%	28,474	16.0%	0.0%
脆弱性検査製品	16,404	11.0%	62.1%	19,797	11.6%	20.7%	20,787	11.7%	5.0%	21,411	12.0%	3.0%
コンテンツセキュリティ対策製品	148,696	26.2%	24.4%	170,852	26.6%	14.9%	178,287	26.5%	4.4%	177,993	26.8%	-0.2%
個人認証用デバイス及びその認証システム	32,828	28.1%	27.5%	34,527	26.0%	5.2%	35,908	25.7%	4.0%	36,626	25.7%	2.0%
個人認証用生体認証デバイス及びその認証システム	30,900	26.4%	126.7%	32,160	24.2%	4.1%	35,376	25.3%	10.0%	37,145	26.1%	5.0%
アイデンティティ管理製品	23,745	20.3%	18.3%	26,781	20.2%	12.8%	27,852	19.9%	4.0%	27,852	19.6%	0.0%
ログオン管理/アクセス許可製品	21,661	18.5%	8.6%	25,818	19.5%	19.2%	26,850	19.2%	4.0%	26,850	18.9%	0.0%
PKIシステム及びそのコンポーネント	7,705	6.6%	-18.3%	13,389	10.1%	73.8%	13,924	10.0%	4.0%	13,924	9.8%	0.0%
アイデンティティ・アクセス管理製品	116,840	20.6%	31.5%	132,674	20.7%	13.6%	139,911	20.8%	5.5%	142,398	21.5%	1.8%
<b>セキュリティツール製品</b>	<b>567,388</b>	<b>100.0%</b>	<b>14.4%</b>	<b>641,556</b>	<b>100.0%</b>	<b>13.1%</b>	<b>672,924</b>	<b>100.0%</b>	<b>4.9%</b>	<b>663,853</b>	<b>100.0%</b>	<b>-1.3%</b>
		58.4%			58.7%			58.6%			58.5%	

# 国内情報セキュリティ市場規模推定値

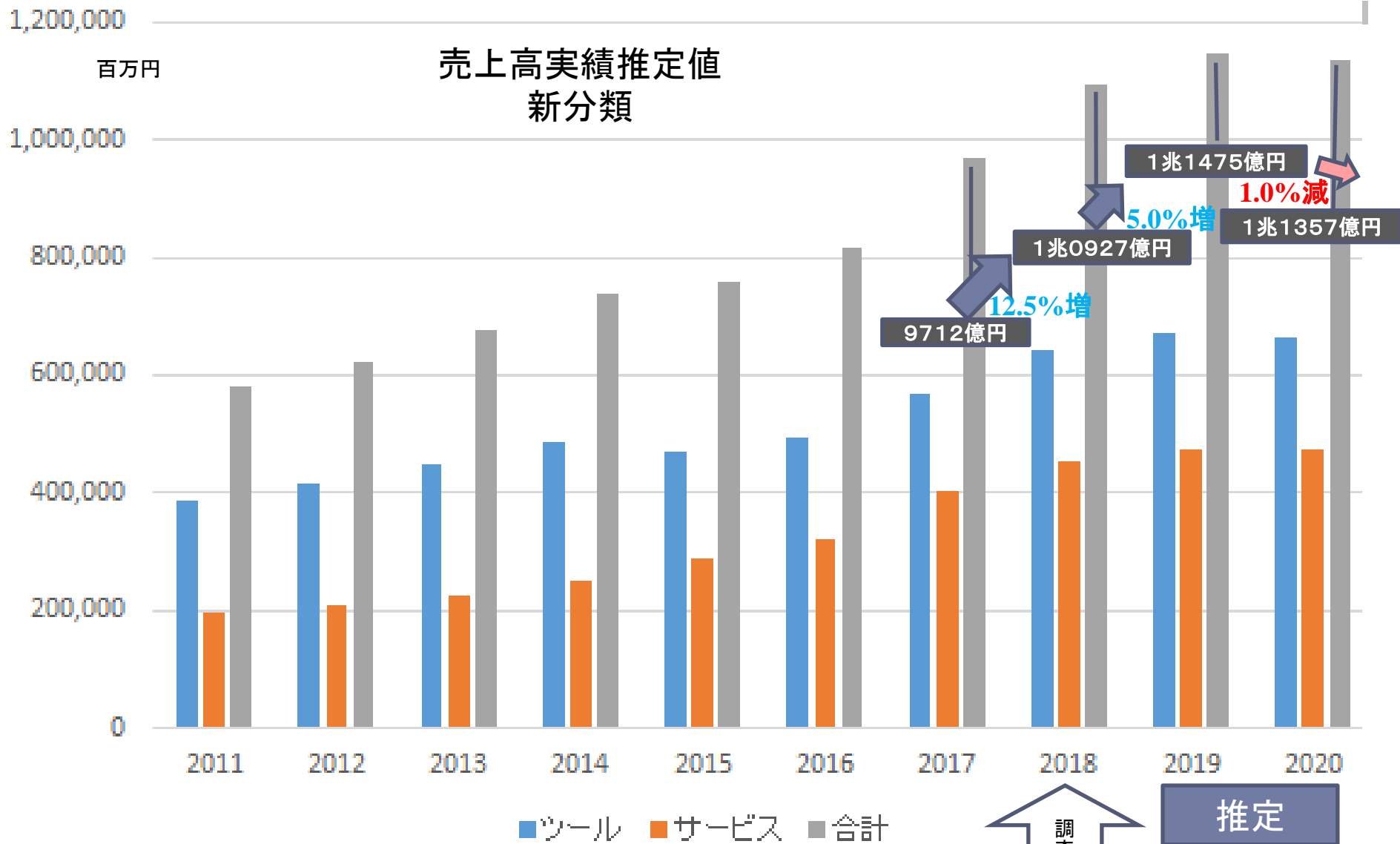


## サービス（役務提供、ノウハウ知的事業活動）

	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
	売上実績推定値			売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	年比伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率
コンサルティング	49,202	34.6%	3.7%	60,185	36.3%	22.3%	63,194	36.3%	5.0%	63,194	36.4%	0.0%
監査・評価	28,104	19.8%	82.6%	34,585	20.9%	23.1%	36,314	20.9%	5.0%	36,314	20.9%	0.0%
診断	36,875	25.9%	34.7%	37,093	22.4%	0.6%	38,948	22.4%	5.0%	40,506	23.3%	4.0%
規格認証	27,964	19.7%	123.7%	33,831	20.4%	21.0%	35,522	20.4%	5.0%	33,746	19.4%	-5.0%
コンサルティング/診断サービス	142,147	35.2%	38.4%	165,694	36.7%	16.6%	173,978	36.7%	5.0%	173,760	36.8%	-0.1%
SOC(セキュリティ・オペレーション・センター・監視対策作業拠点事業)	146,912	79.2%	6.8%	155,347	78.2%	5.7%	163,114	78.2%	5.0%	169,638	78.2%	4.0%
インシデント対応・フォレンジック	24,899	13.4%	74.7%	27,001	13.6%	8.4%	28,351	13.6%	5.0%	29,485	13.6%	4.0%
インテリジェンス情報提供	13,799	7.4%	81.2%	16,264	8.2%	17.9%	17,078	8.2%	5.0%	17,761	8.2%	4.0%
マネージド・運用サービス	185,610	46.0%	16.4%	198,612	44.0%	7.0%	208,542	43.9%	5.0%	216,884	46.0%	4.0%
電子証明書発行・PK型認証	21,906	28.8%	113.7%	28,159	32.4%	28.5%	29,567	32.1%	5.0%	30,750	37.9%	4.0%
リテラシー教育	20,865	27.4%	-3.8%	27,076	31.2%	29.8%	28,972	31.5%	7.0%	20,280	25.0%	-30.0%
資格取得支援	13,547	17.8%	45.0%	17,041	19.6%	25.8%	18,233	19.8%	7.0%	16,410	20.2%	-10.0%
保険	19,767	26.0%	8.5%	14,526	16.7%	-26.5%	15,252	16.6%	5.0%	13,727	16.9%	-10.0%
周辺サービス	76,085	18.8%	27.9%	86,802	19.2%	14.1%	92,025	19.4%	6.0%	81,167	17.2%	-11.8%
情報セキュリティサービス	403,842	100%	25.6%	451,108	100%	11.7%	474,545	100%	5.2%	471,811	100%	-0.6%
		41.6%			41.3%			41.4%			41.5%	



# 情報セキュリティ市場規模の推移



# 調査対象企業分布



区分別 社数 カウント	元数	エンドポイント 保護管理製 品	ネットワーク 防御・検知/ 境界線防御 製品	コンテンツセ キュリティ対 策製品	アイデンティ ティ・アクセス 管理製品	セキュリティ ツール	コンサルティング/診断 サービス	マネージド・ 運用サービ ス	周辺サービ ス	セキュリティ サービス
A	103	54	66	45	26	89	39	32	27	49
B	135	40	71	55	45	124	16	26	18	41
C	56	32	40	36	24	53	17	14	9	22
D	134	67	95	79	53	124	64	64	53	86
E	45	33	32	34	29	38	39	41	39	45
F	30	1	1	1	0	2	29	7	12	29
G	155	20	20	25	9	34	113	93	81	150
H	16	0	4	4	2	6	2	4	10	14
計	674	247	329	279	188	470	319	281	249	436

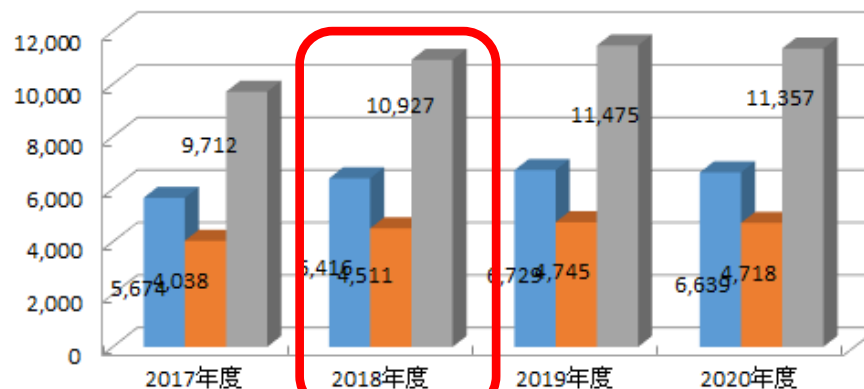
## 2018年度(2019年3月期)

	ツール専業	サービス専業	ツール・サー ビス兼業	有効推計対 象	企業分布 割合
海外メーカーまたはその日本法人	54	14	35	103	15.3% A
国内のセキュリティ・ツールメーカー	94	11	30	135	20.0% B
販売店・商社等主として流通機能のプレーヤ	34	3	19	56	8.3% C
SI・NI機能を提供する二次・三次販売店	48	10	76	134	19.9% D
大手システムインテグレータ(SIが主付加価値)	0	7	38	45	6.7% E
F: コンサルティング・ファーム	1	28	1	30	4.5% F
G: サービス提供事業者	5	121	29	155	23.0% G
H: サイバー保険・その他異業種	2	10	4	16	2.4% H
	238	204	232	674	100%

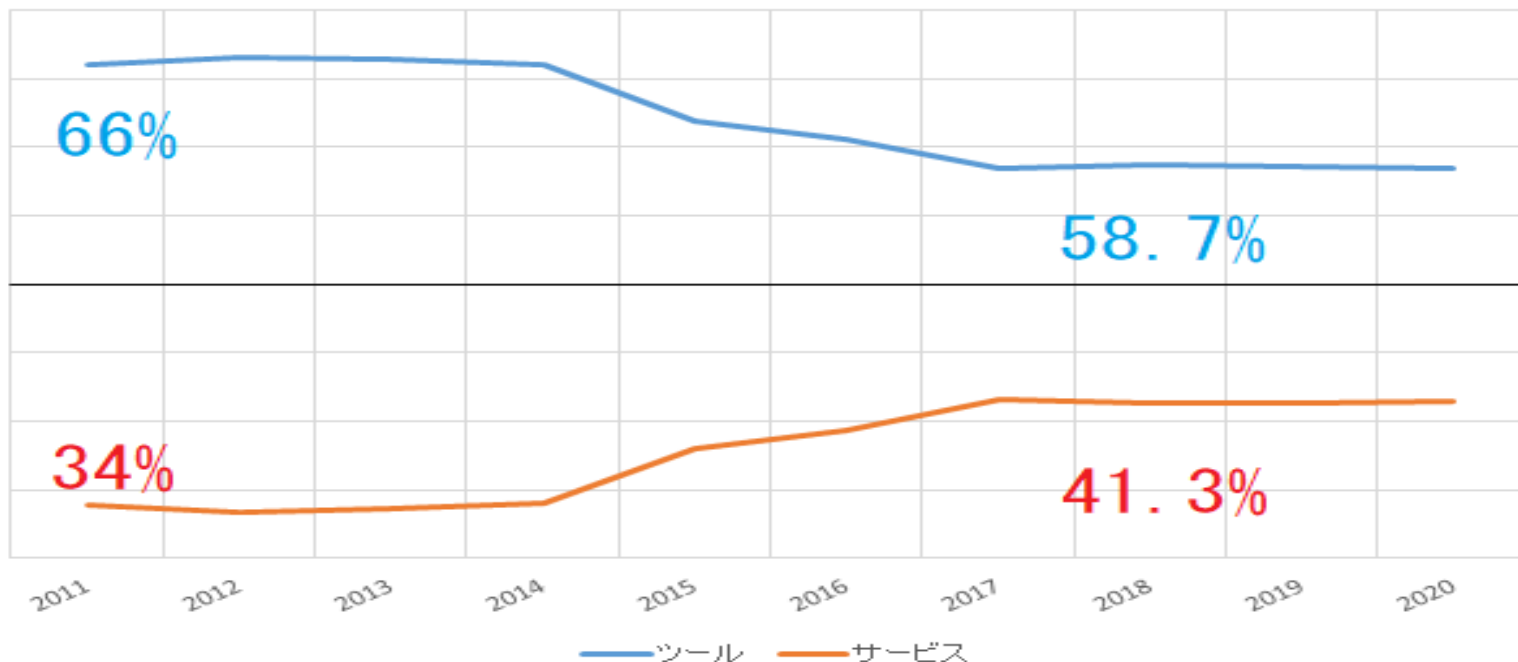
# ツールとサービスの市場規模

- 2014年頃から徐々にサービス寄りになってきている。
- ツール進化とサービス充実が適合し市場規模を押し上げる。
- 2020年先行き不透明。

億円

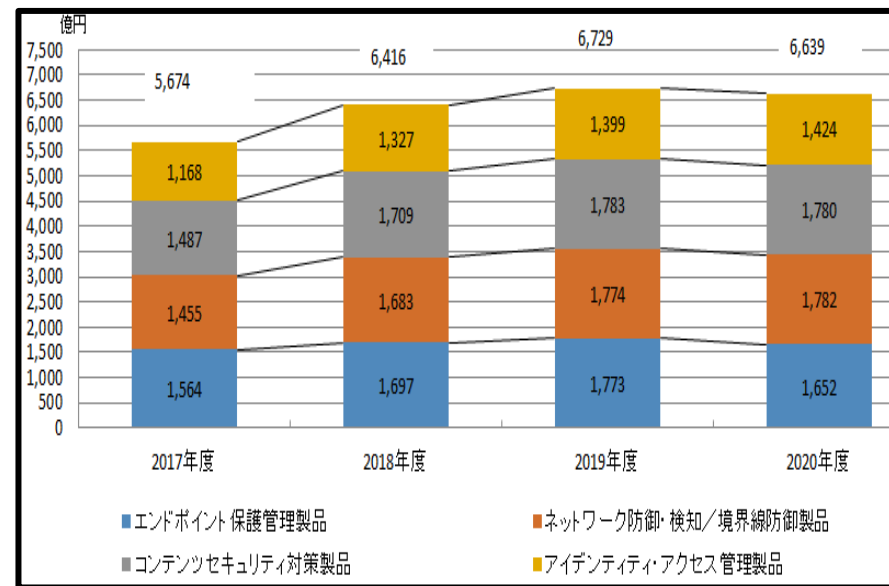
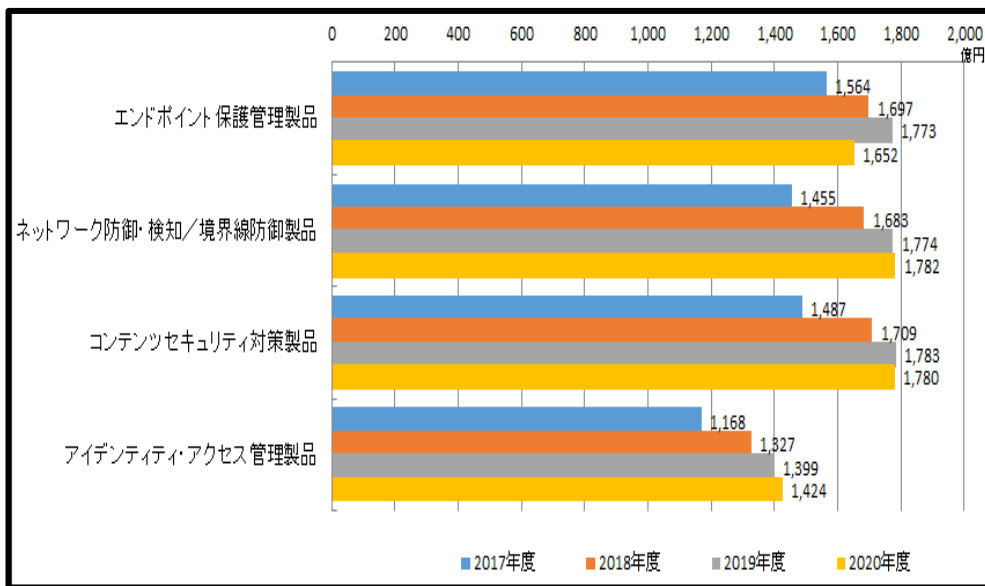
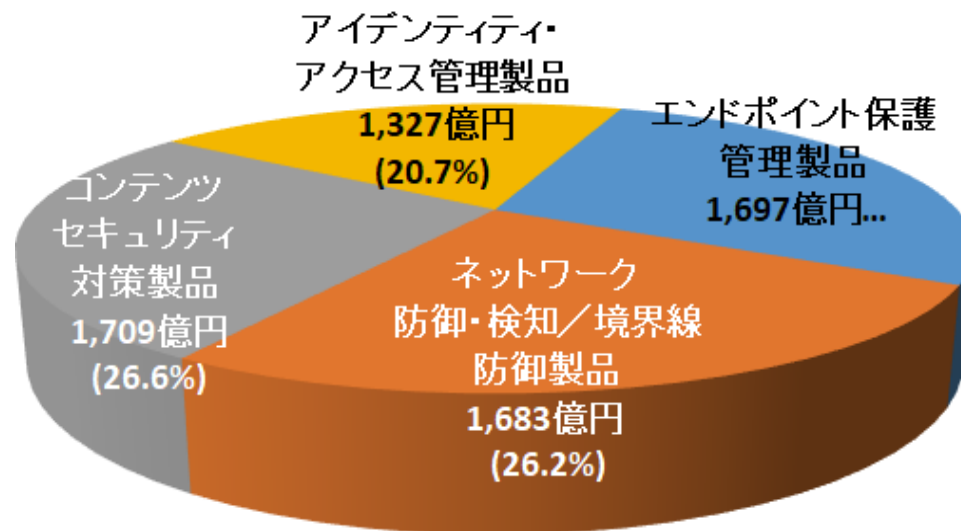
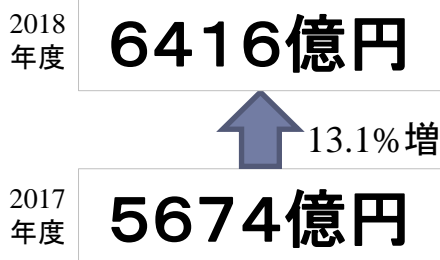


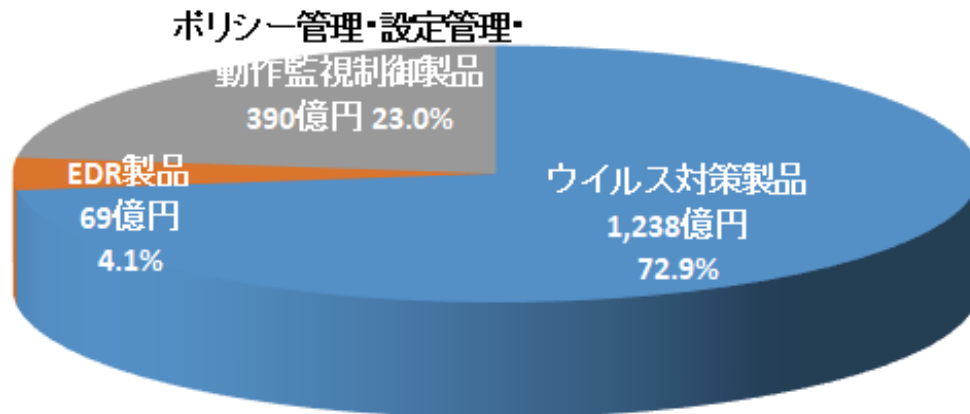
■ 情報セキュリティツール市場 ■ 情報セキュリティサービス市場 ■ 情報セキュリティ市場 計



# 情報セキュリティ ツール市場推移

## ツール全体





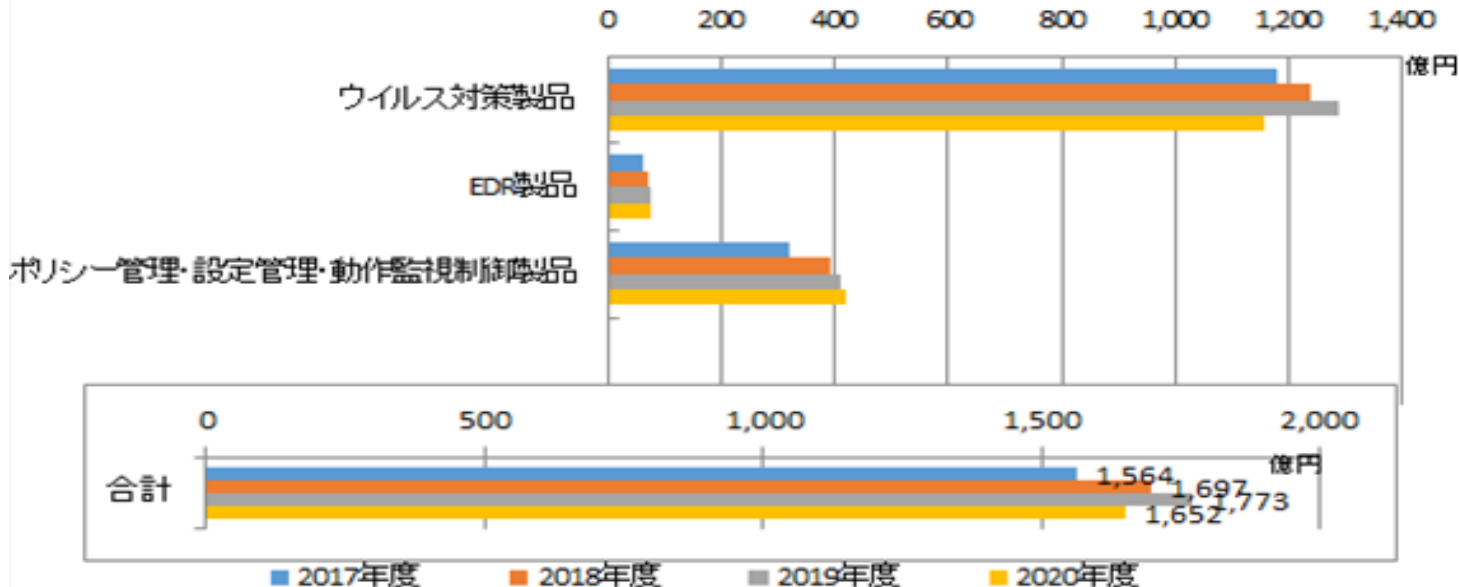
このカテゴリは、個人向け・企業向けのアンチウイルス製品がほとんどを占めているが、今後は、EDR(End-point Detection & Response)や、ポリシー設定と動作を監視する製品が急激に増大することからカテゴライズされた新しい分類である。特に人工知能を搭載したEDR製品が従来アンチウイルス製品と肩を並べる好機が到来している。ただし、2021年度までは売上として反映されないと推定。

2018年

**1697億円**

2017年 ↑ 4.8% 増

**1594億円**



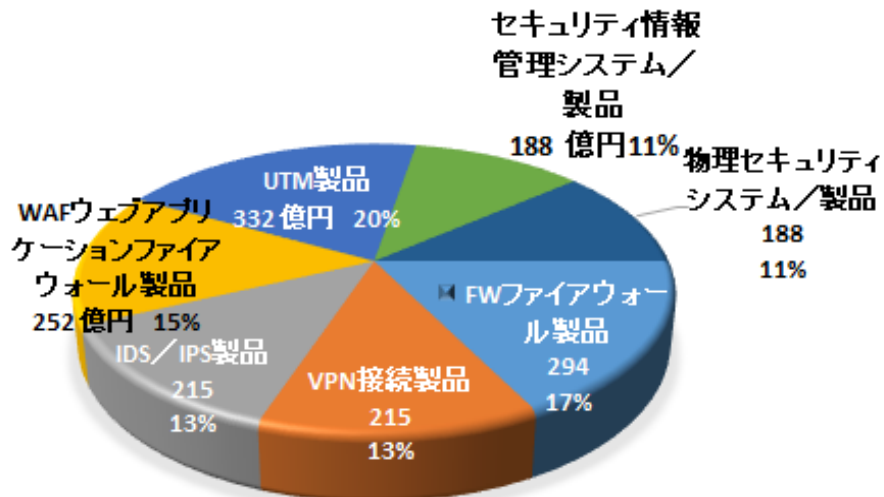
# ネットワーク防御・検知／境界線防御製品

2018年

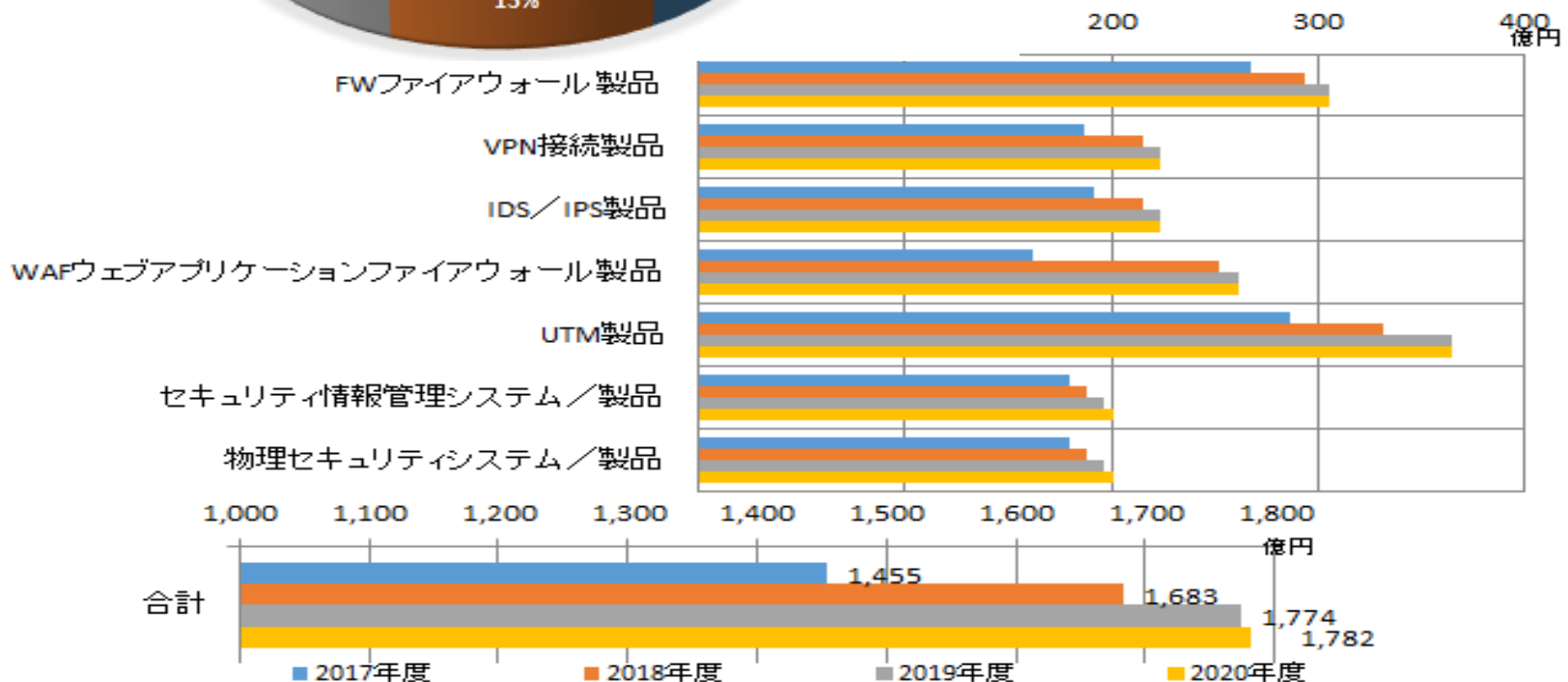
1683億円

2017年 ↑ 15.7% 増

1455億円



統合型アプライアンス市場同様、外資系の進出が増えたため、そのソリューション流通方法としてのアプライアンスが伸びたと推定。



# コンテンツセキュリティ対策製品

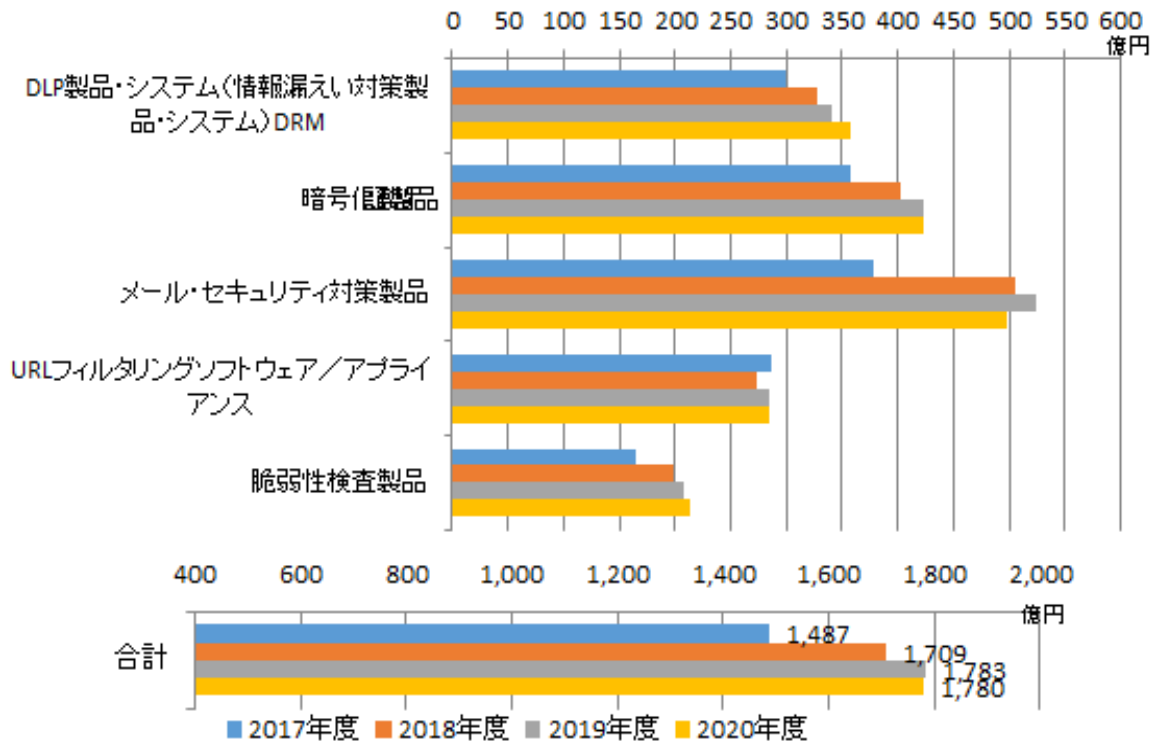
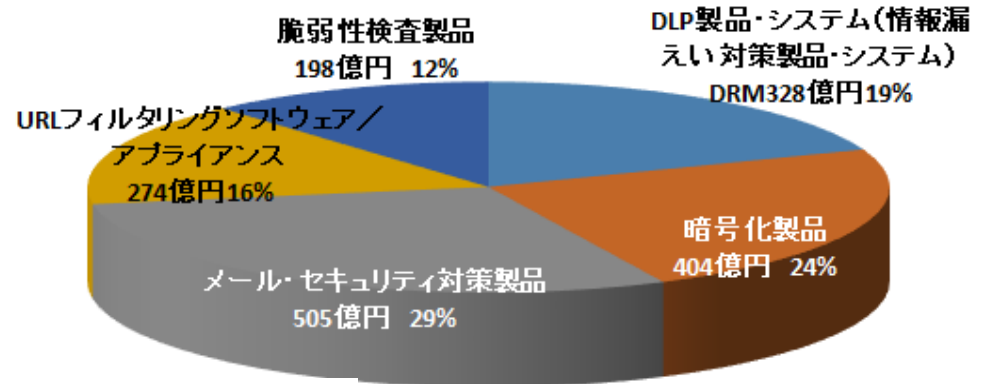
2018年

1709億円

2017年

1487億円

↑ 14.9% 増



- メール無害化等ソリューション好調によりメールセキュリティ33.3%増
- 続いて脆弱性検査製品が20.7%の伸び
- 暗号化製品が13.0% DLP製品は9.4%と続く中、URLフィルタリングは-4.6%と減少。アンチウイルス製品の前工程のDetectionが振舞い検知・EDRに執って代わろうとしている段階と推察できる。

# アイデンティティ・アクセス管理製品

2018年

1327億円

2017年

↑ 13.6%増

1168億円

PKIシステム及びそのコンポーネント,  
134億円 10%

ログオン管理/アクセス許可製品,  
258億円, 20%

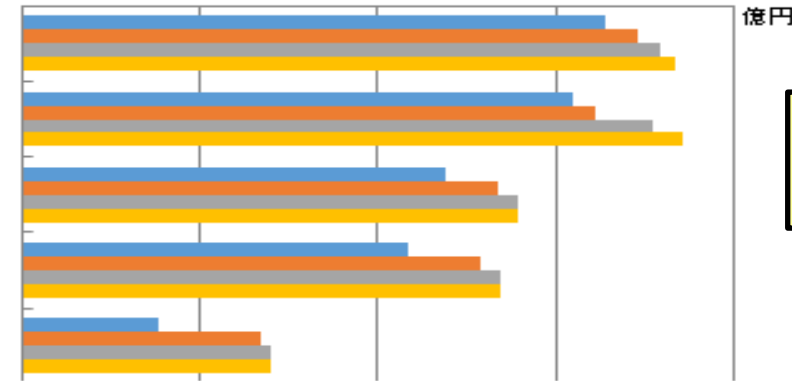
個人認証用デバイス及びその認証システム  
345億円 26%

アイデンティティ管理製品  
268億円 20%

個人認証用生体認証デバイス及びその認証システム  
322億円 24%

0 100 200 300 400 億円

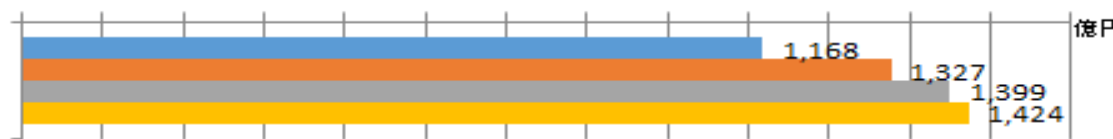
個人認証用デバイス及びその認証システム  
個人認証用生体認証デバイス及びその認証システム  
アイデンティティ管理製品  
ログオン管理/アクセス許可製品  
PKIシステム及びそのコンポーネント



• PKI認証大幅な伸び: 77→134億円

250 350 450 550 650 750 850 950 1,050 1,150 1,250 1,350 1,450 1,550 億円

合計

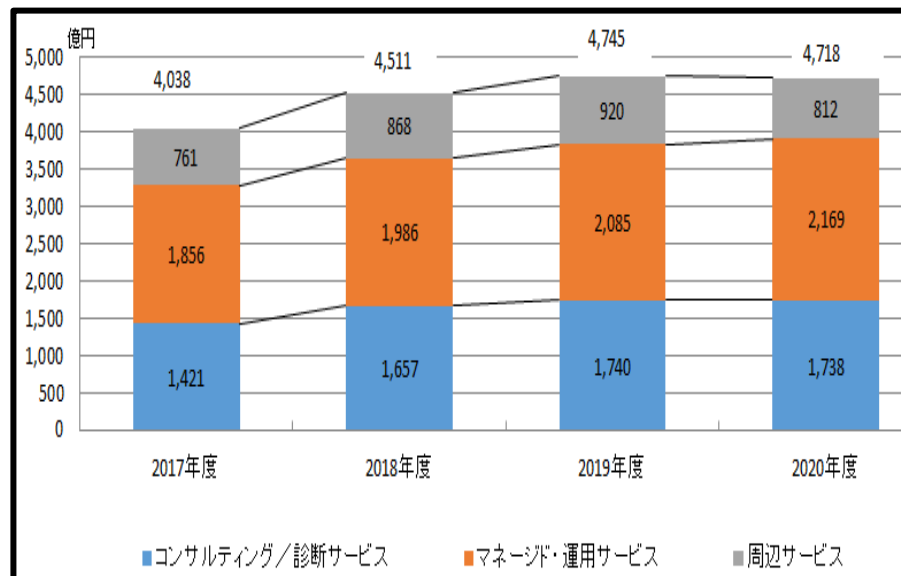
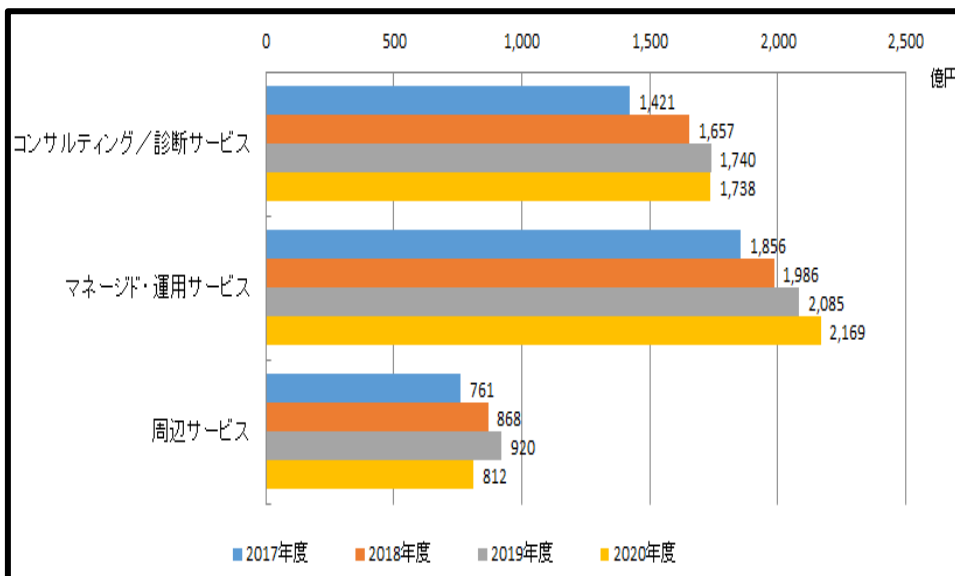
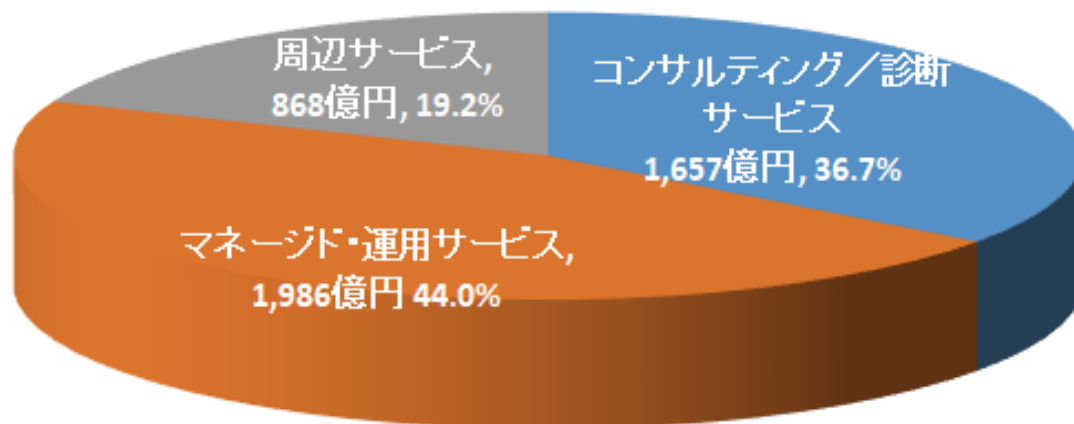


■ 2017年度 ■ 2018年度 ■ 2019年度 ■ 2020年度



# 情報セキュリティサービス市場推移

## サービス全体



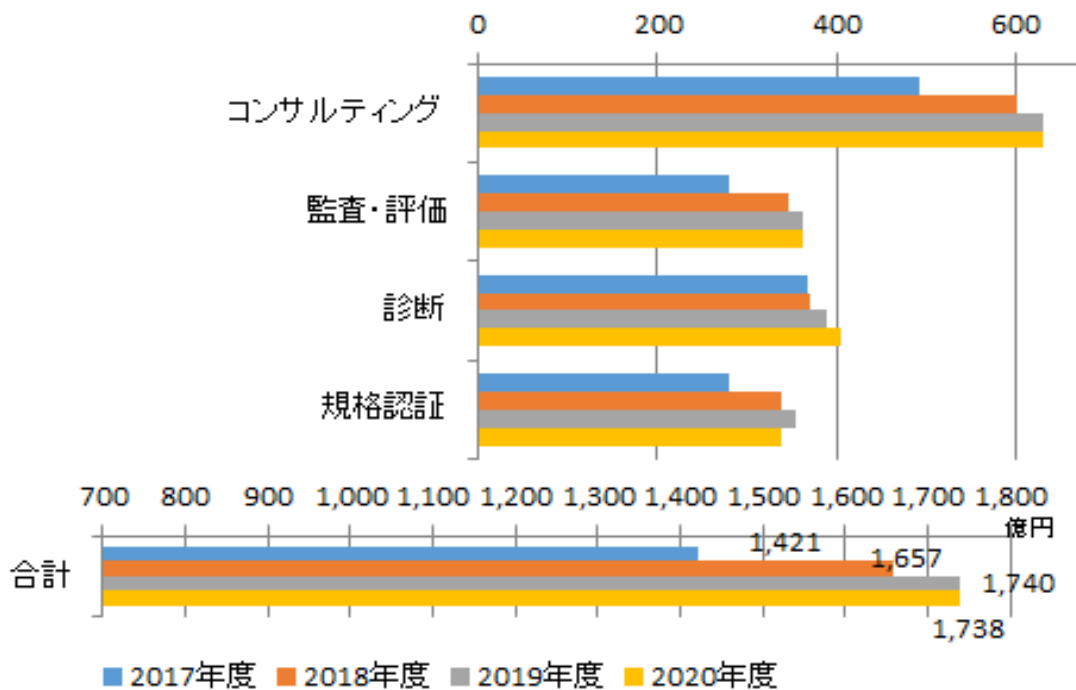
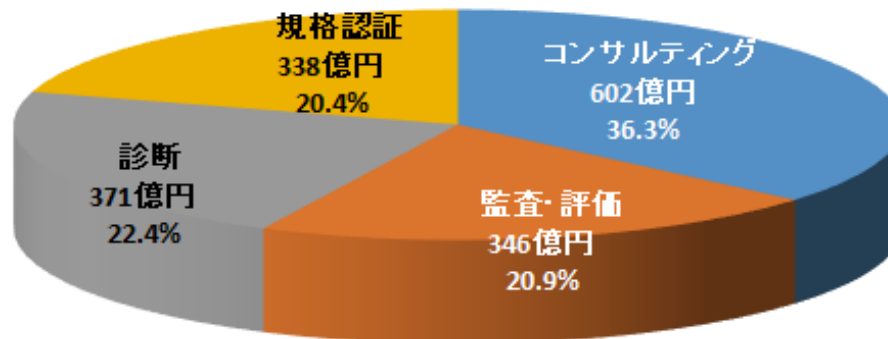
2018年

1657億円

2017年

1421億円

↑ 16.6%増



- モバイル化等の環境変化の中、コンサル需要が復活。
- コンサル、監査、評価、規格認定は、全て20%以上の伸びを示す。
- 診断の伸びは無かった。これは、2018年度の特徴として新しいセキュリティ導入が進む中、コンサル中心で展開したと推定。

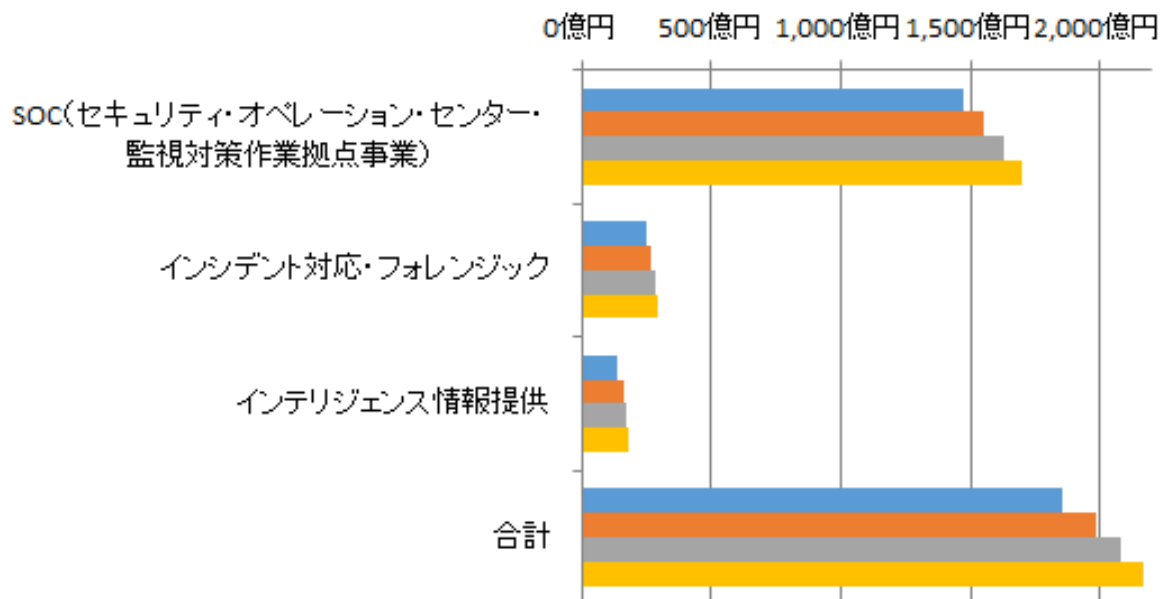
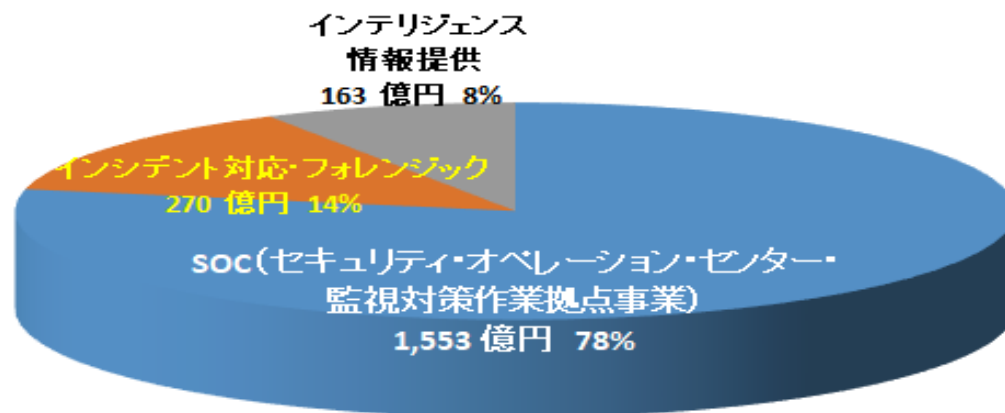
2018年

1986億円

2017年

7.0%増

1856億円



- このカテゴリは約78%をSOC事業が担っており、好調な推移をしている。
- テレワーク、遠隔ビジネスなど、社内環境を外部に持ち出した時の、管理・運用に新しい商機が生まれる分野である。

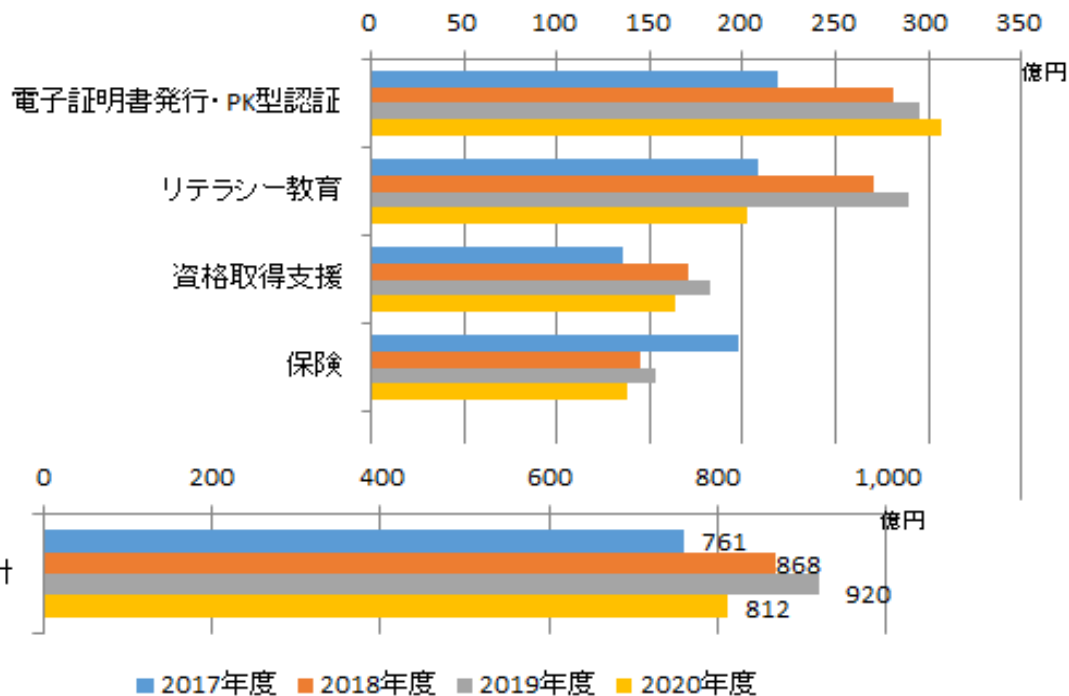
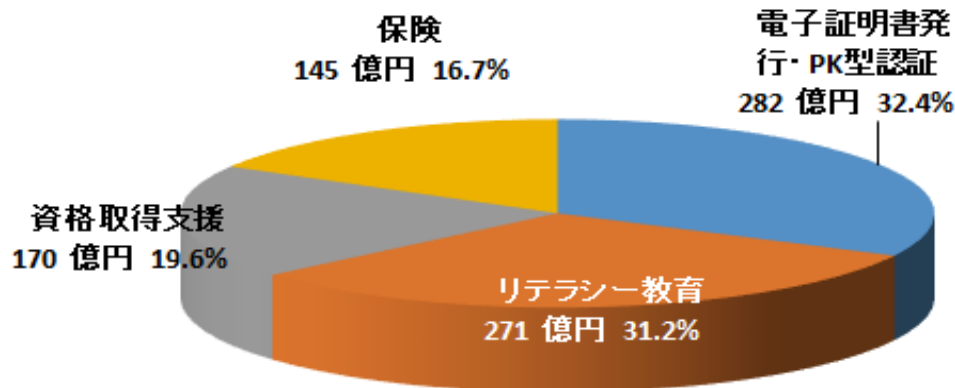
2018年

868億円

2017年

761億円

↑ 14.1%増



- 資格認定・教育の需要急増で事業者側で要員のやりくりがつかず伸びが限定的であったが、2018年度は人員補充も進み、大幅な伸びを記録した。しかし、2020年度は大きなブレーキとなる。
- 保険は、外資を含め保険各社がサイバー保険商品を次々発表、インセンティブ等の商品企画も拡充したが、保険会社本体が激甚災害支援等で事業の優先順位が変わったこと、サイバー保険に加盟見込みの顧客となり得る大企業への拡販が一周し、中小拡販が費用対効果に見合わない等により頭打ち。

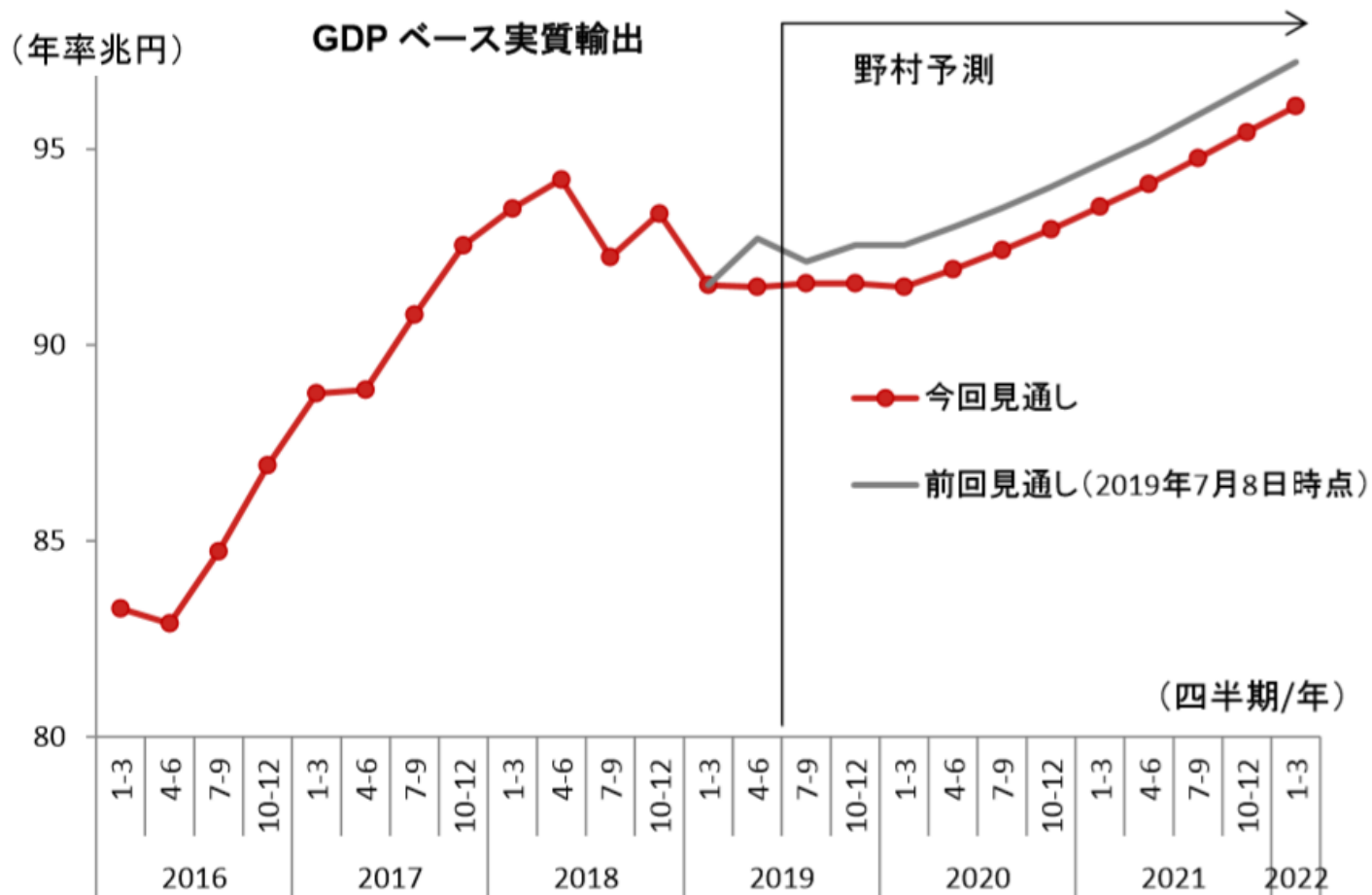
# マクロ経済指標による本調査の整合性考察①

2019年8月19日野村証券金融経済研究所 経済調査部 論文2019~21年度の経済見通し—外需環境悪化は内需に波及するか？—

[https://www.nomuraholdings.com/jp/services/zaikai/journal/pdf/w\\_201908\\_02.pdf](https://www.nomuraholdings.com/jp/services/zaikai/journal/pdf/w_201908_02.pdf)

この段階で、未だ新型コロナウイルス感染拡大による経済低迷を加味していないので、更にこれに予測を加える。

欧米▲10% 中国+2% 日本▲5%の成長率を想定。 **但し、IT業界、セキュリティ業界は成長続伸の予想もある。MS業績拡大等**



# マクロ経済指標による本調査の整合性考察②



主要経済指標 平成31年1月28日閣議決定	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績見込み)	平成31年度 (見通し)	対前年度比増減率					
	兆円 (名目)	兆円程度 (名目)	兆円程度 (名目)	平成29年度		平成30年度		平成31年度	
				% (名目)	% (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)
国内総生産	547.4	552.5	566.1	2.0	1.9	0.9	0.9	2.4	1.3

2018～2019年度の企業業績見通し

2018年11月30日

経常増減益率(単位:前年度比、%) 出典:野村証券株式会社 市場戦略リサーチ部 エクイティ・リサーチ部

	社数	15年度	16年度	17年度	18年度		19年度	
					前回 予想	今回 予想	前回 予想	今回 予想
中業種分類								
電機・精密	38	-19.7	27.8	26.1	24.1	17.8	9.8	11.1
サービス	14	-5.6	-9.6	10.9	-4.8	-4.7	12.4	10.3
ソフトウェア	9	-11.4	21.1	44.2	26.1	22.6	22.5	24.5
メディア	5	10.4	-1.0	9.6	-15.7	-10.3	9.5	7.1
通信	9	5.6	-1.4	1.4	25.9	21.5	24.8	30.3

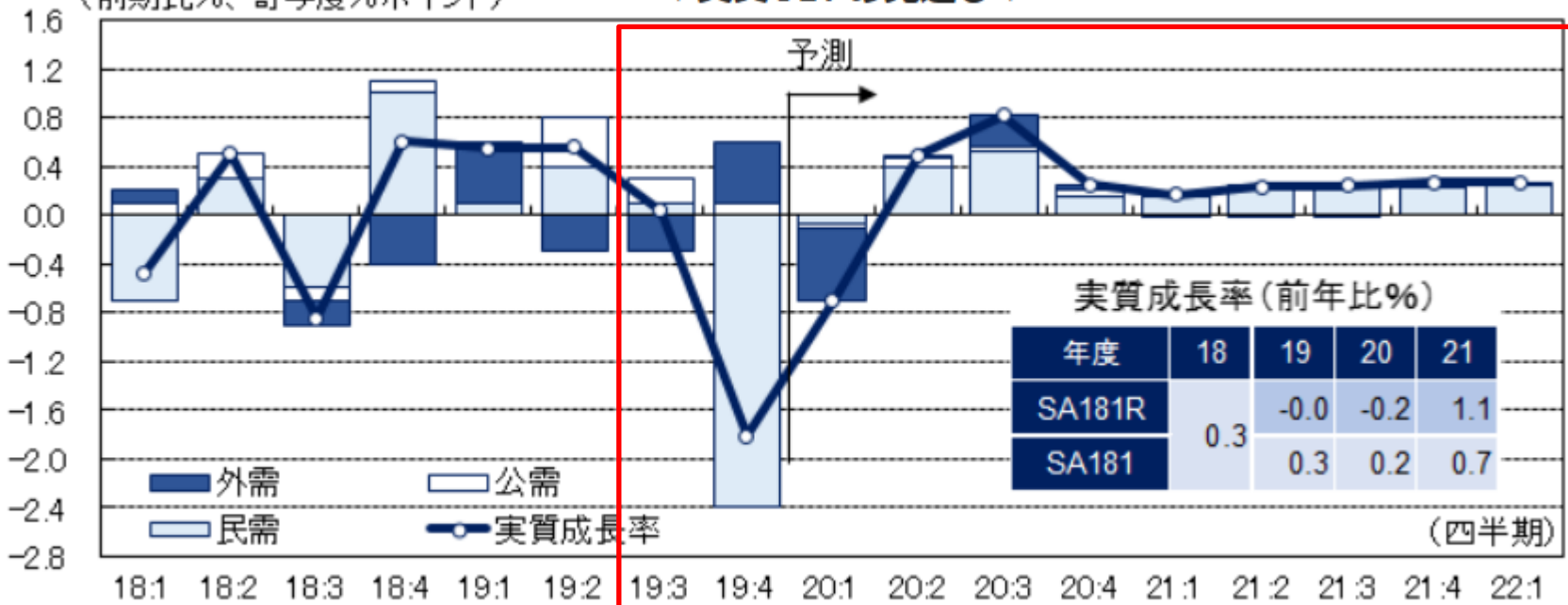
- GDP実質成長率が、2017年度:1.9%、2018年度:0.9%、2019年度:1.3%とプラス傾向で推移
- 情報セキュリティ事業を展開する関連企業の経常利益率が極めて高水準で推移
- 本調査結果 (2016年比2017年:14.6%) (2017年比2018年:3.6%) (2018年比2019年:4.5%)

未だ新型コロナウイルス感染拡大による経済低迷を予測を加えた資料が出てきていない。  
IT業界、セキュリティ業界は依然大きなアドバンテージを持っている。

# マクロ経済指標による本調査の整合性考察③

(前期比%、寄与度%ポイント)

▽実質GDPの見通し▽



(資料)内閣府『四半期別GDP速報』

## JCER日本経済研究センター 短期経済予測 (第181回改訂 /2020年1-3月期~2022年1-3月期)

### •JNSA市場調査の予測

昨年： 2016年比17年：14.6%、2017年比18年：3.6%、2018年比19年：4.5%

↓コンサバに見ていた ↓2019年4Q落込み? ↓JCERの方が楽観的

今回： 2016年比17年：14.6%、2017年比18年：12.4%、2018年比19年：4.8%、2019年比20年：▲3.0%

## ■ワーキンググループリーダー

(正) 磯部 良輔 興安計装株式会社

(副) 玉川 博之 株式会社VSN

## ■メンバー

福岡 かよ子 株式会社インテック

遠藤 恵太 株式会社クリエイティブジャパン

西村 奏一 株式会社クリエイティブジャパン

蜂巢 悌史 株式会社km2y

森田 翔 株式会社km2y

北浦 義朗 SBテクノロジー株式会社

増田 聖一 三井物産セキュアディレクション株式会社

清水 利彦 三菱スペース・ソフトウェア株式会社

中間 俊英 株式会社ラック

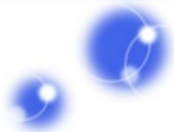
## ■オブザーバー

勝見 勉

菅野 泰彦

アルプス システム インテグレーション株式会社(2020年9月15日まで)





2019年度JNSA国内情報セキュリティ市場調査報告（2020年6月発表予定）

IPA資料提供： 2020年4月末予定（JNSA事務局より）

公開資料： 2020年6月 日（初版） :Web公開

JNSA調査研究部会 セキュリティ市場調査WG

<http://www.jnsa.org>  
[sec@jnsa.org](mailto:sec@jnsa.org)

**END**